



ESGラウンドテーブル - 自販機市場のトップランナーとして業界をリードし続ける -

ダイドーグループホールディングス株式会社
(東証プライム : 2590)

2022年10月19日

01	グループミッション2030の実現に向けた取り組み	P.03
02	自販機市場のトップランナーをめざして	P.11



01 グループミッション2030の実現に向けた取り組み

「こころとからだに、おいしいものを。」を皆様にお届けする

グループ理念



人と、社会と、共に喜び、共に榮える。

その実現のためにDyDoグループは、ダイナミックにチャレンジを続ける。

グループビジョン

- | | |
|---------------------|--|
| DyDoはお客様と共に。 | 高い品質にいつもサプライズを添えて、「オンリーDyDo」のおいしさ与健康をお客様にお届けします。 |
| DyDoは社会と共に。 | グループ全体で生み出す製品・企業活動「オールDyDo」が、豊かで元気な社会づくりに貢献します。 |
| DyDoは次代と共に。 | 国境も既存の枠組みも越えて、次代に向けて「DyDoスタンダード」を創造します。 |
| DyDoは人と共に。 | 飽くなき「DyDoチャレンジ」で、DyDoグループに関わるすべての人の幸せを実現します。 |

グループスローガン

こころとからだに、
おいしいものを。



2030年のありたい姿として、2019年1月に策定

世界中の人々の楽しく健やかな暮らしを 創り出すDyDoグループへ

DyDoはお客様と共に。



お客様の健康をつくります

おいしさへの飽くなき探求心のもと、
世界中のお客様の健康や生活の質向上に
貢献する商品・サービスをお届けします。

DyDoは社会と共に。



社会変革をリードします

持続可能な社会のために、
常識に捉われず、新たな視点から
社会変革を自らリードします。

DyDoは次代と共に。



次代に向けて新たな価値を生み出します

革新的なテクノロジーを活用し、
すべてのステークホルダーに
ワクワクや驚きといった体験を提供します。

DyDoは人と共に。



人と人のつながりをつくります

グループ内外と柔軟に連携し、
多様な価値観や能力を尊重しながら
新たな共存共栄を推進します。

社会価値、環境価値、経済価値を高め、持続的成長を実現する

社会価値 世界中の人々が楽しく健やかに暮らすことのできる持続可能な社会の実現に貢献する

世界中の人々の楽しく健やかな暮らしを クリエイトするDyDoグループへ

環境価値 2050年までに自販機ビジネスにおける
カーボンニュートラルをめざす
(自社排出+自販機の電力消費による排出※1)

経済価値 中長期的な企業価値向上の実現をめざす

2030年までに

国内飲料事業

自社排出 (Scope1・Scope2) ※2

カーボンニュートラル

国内主要グループ会社※3

自社排出量 (Scope1・Scope2)

50%削減※4 (2020年比)

2030年1月期 連結ROIC

8%以上

※1 ダイドービバレッジサービスによるオペレーション自販機のCO₂排出量 (Scope3)

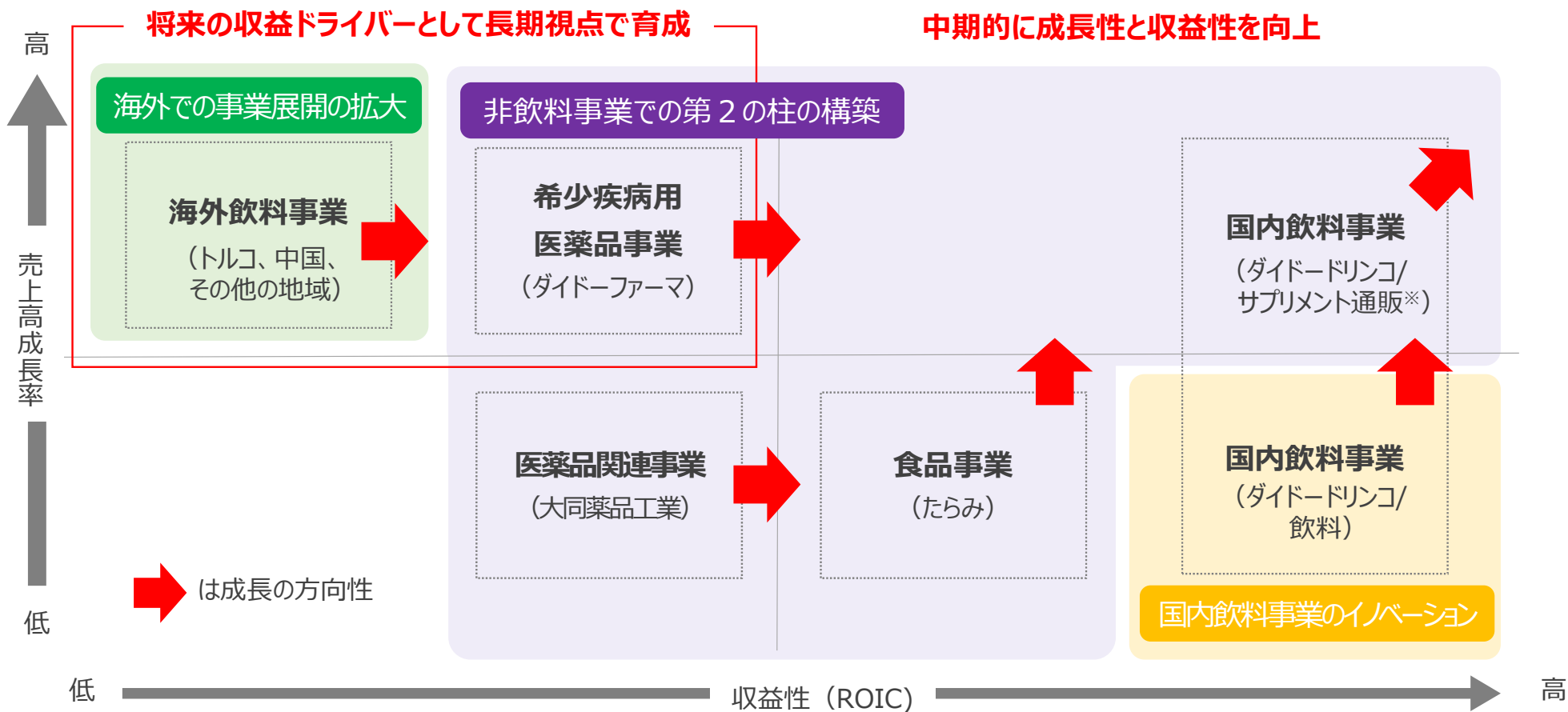
※2 ダイドードリンク、ダイドービバレッジサービス、ダイドービジネスサービス

※3 ダイドードリンク、ダイドービバレッジサービス、ダイドービジネスサービス、
大同薬品工業、たらみ

※4 売上高原単位 (対象グループ会社の排出量合計÷売上高合計) にて算出)

※投下資本はセグメントへの投下分

「2030年のありたい姿」の実現に向けて、事業ポートフォリオ戦略を推進



* サプリメント通販は、ダイドードリンコが育成中の事業のため、会計上の事業セグメントは国内飲料事業に含まれます。

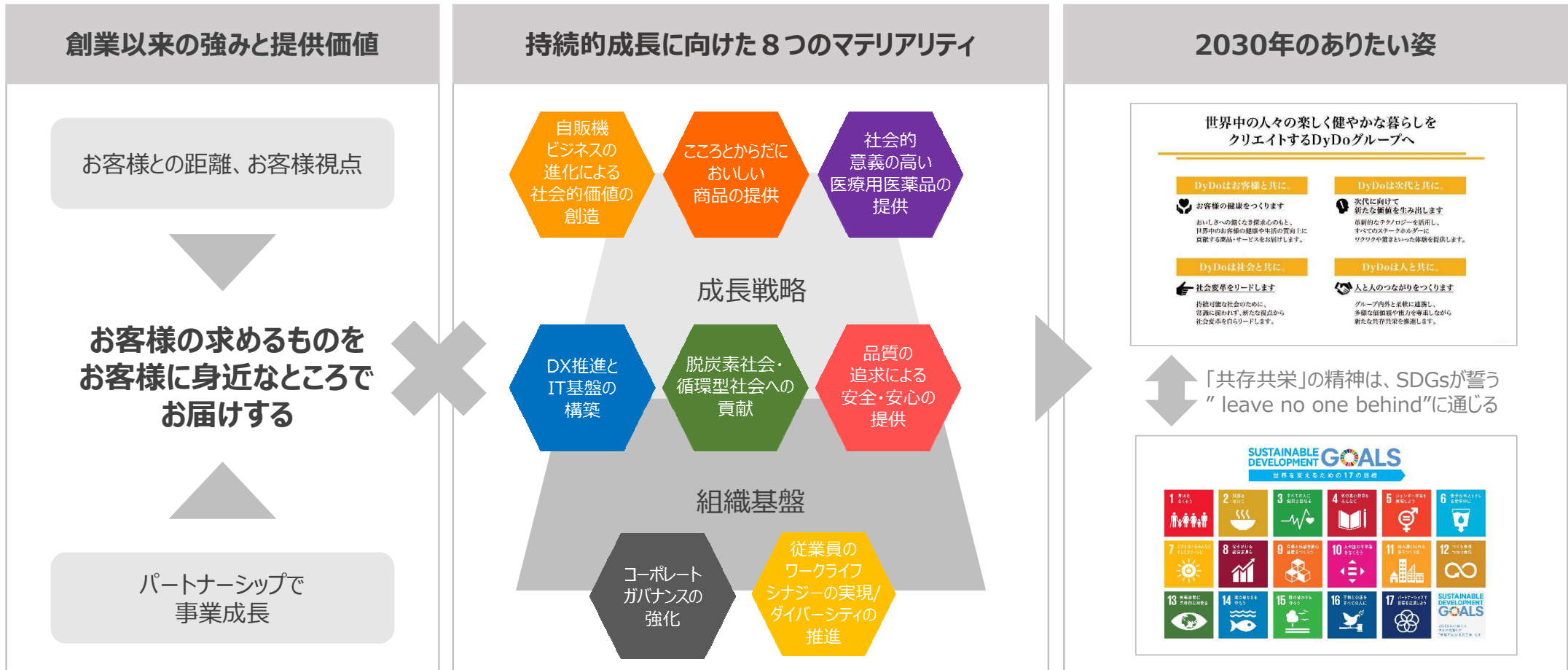
2030年のありたい姿の実現に向けたマテリアリティの特定



マテリアリティの特定
P.21-36



グループ理念 人と、社会と、共に喜び、共に栄える。その実現のためにDyDoグループは、ダイナミックにチャレンジを続ける



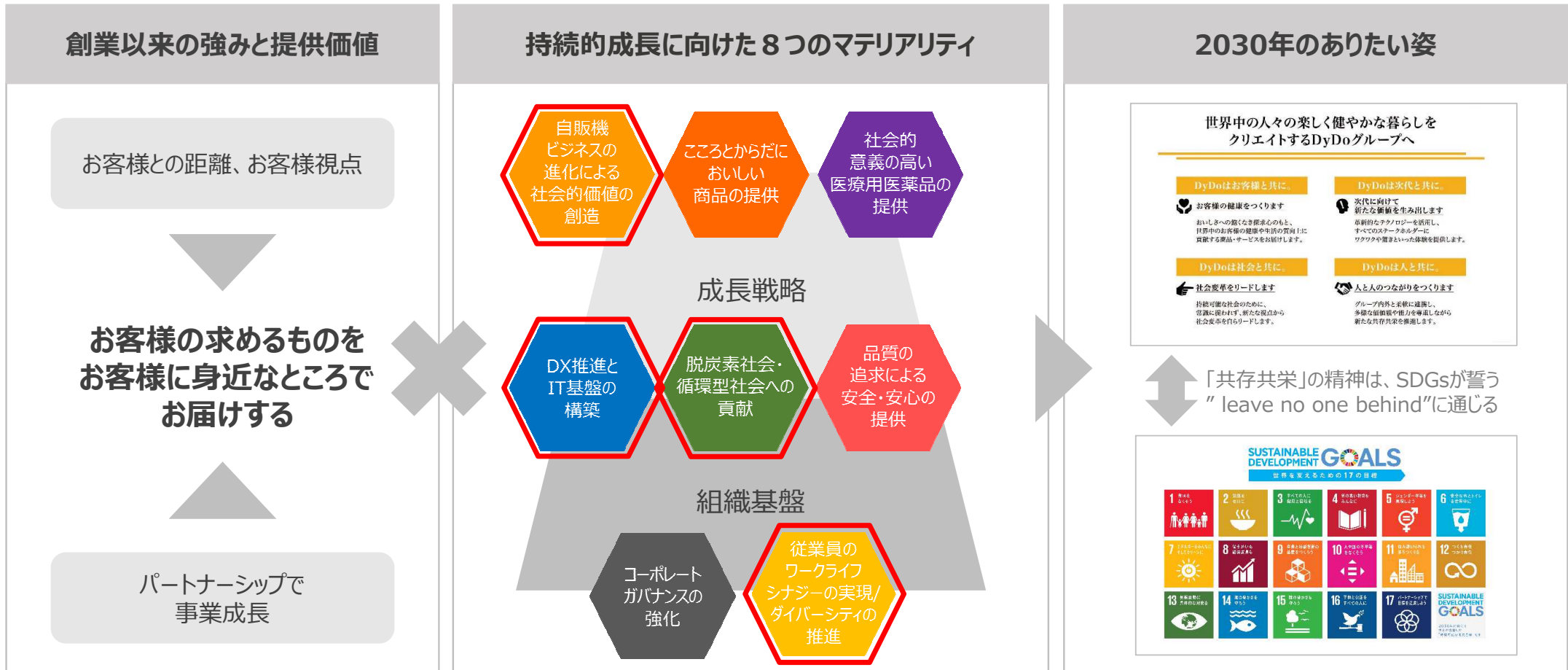
2030年のありたい姿の実現に向けたマテリアリティの特定



マテリアリティの特定
P.21-36



グループ理念 人と、社会と、共に喜び、共に栄える。その実現のためにDyDoグループは、ダイナミックにチャレンジを続ける



「こころとからだに、おいしいものを。」お届けし、世界中の人々の楽しく健やかな暮らしをクリエイトする。

世界中の人々の楽しく健やかな暮らしを クリエイトするDyDoグループへ

自販機市場において、
絶え間ない挑戦と共創で
新しい価値を提供し、
トップランナーとして
業界をリードし続けます

こころとからだに、
おいしいものを。



治療選択肢のない
希少疾病に苦しむ患者様へ
治療薬を提供します

世界中の人々の健康を支える
グローバルブランドを生み出します

「健康・美容」分野での
製造受託企業NO.1になります

フルーツとゼリーを通して
「おいしさ」と「健康」を追求し、
すべての人々を幸せにします

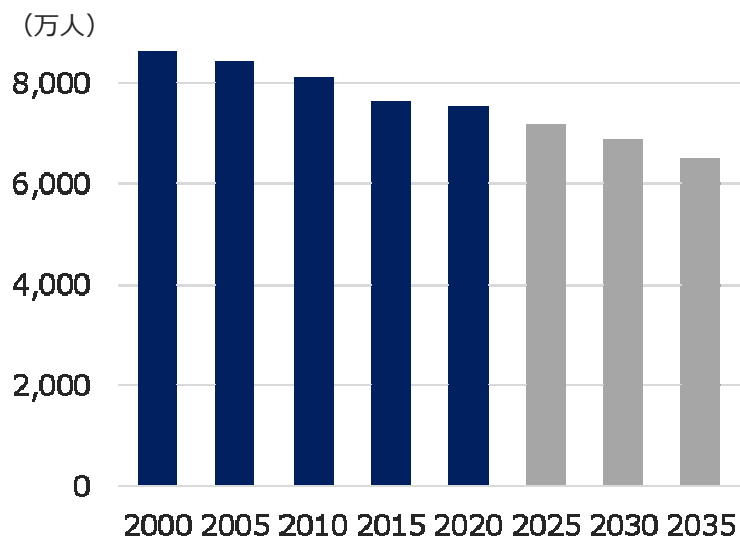


02 自販機市場のトップランナーをめざして

自販機ビジネスの維持に向けては、労働人口の減少への対応が不可避

労働市場の変化

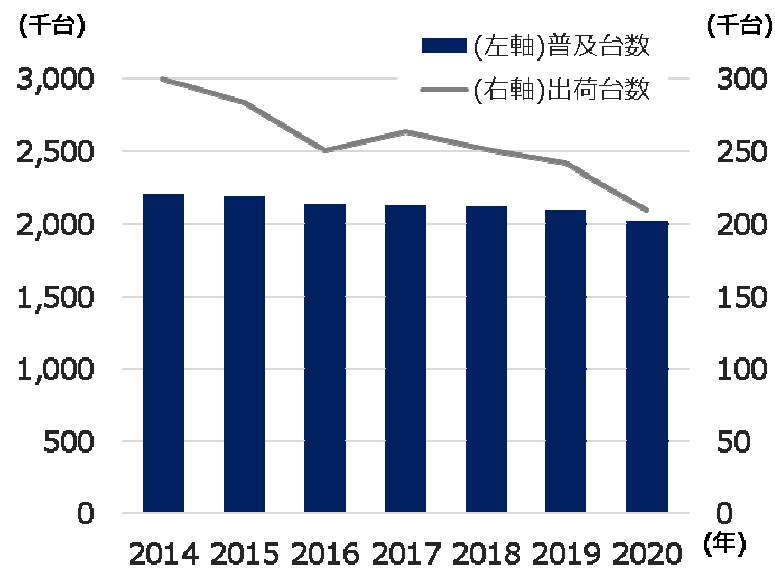
労働人口の推移



※総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」より
ガイドーGHD作成

自販機台数の推移

自販機普及台数・出荷台数



※「経済産業省生産動態統計年報（機械統計編）」
日本自動販売システム機会工業会より、ガイドーGHD作成

自販機市場における優位性確立に向けた取り組み①



「顧客志向営業」を推進し、量（台数）× 質（PM※）の最大化を図り、売上成長をめざす

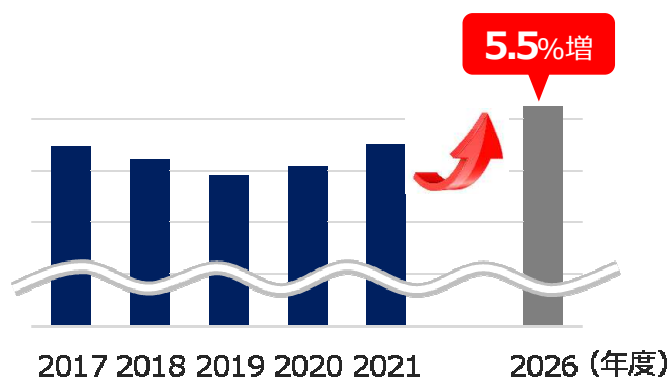
自販機台数の増加に向けた取り組み

- 新規設置場所の開拓に向けた活動量の拡大
 - 営業人員の拡充
 - インサイドセールスの強化
- 「顧客志向営業」の進化

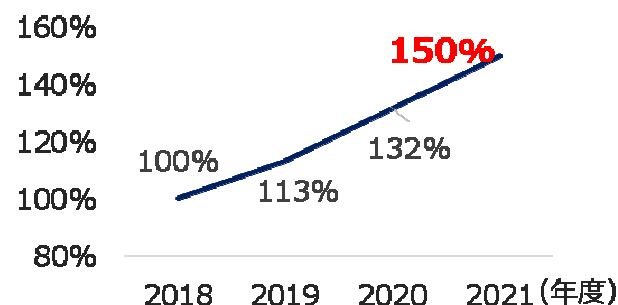
PM最大化への取り組み

- 高いPM※が見込める先への設置促進
※ 1台あたり売上高
- 設置場所に応じた商品ラインナップの最適化、販売価格の適正化

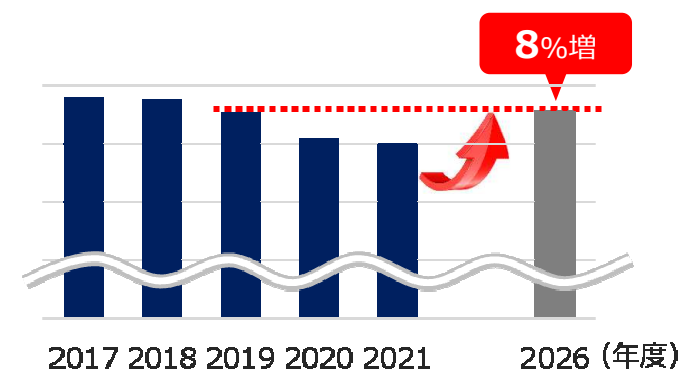
ガイドードリンクの期末稼働台数の推移



ひとりあたり生産性（新規開拓台数）



PMの推移



自販機市場における優位性確立に向けた取り組み②



スマート・オペレーション体制を確立し、時代やニーズにあわせて常に進化させ続けていく

スマート・オペレーションによる提供価値拡大に向けた取り組み

- スマート・オペレーションの全台展開完了（2022年5月）
- 全台オンライン化に伴うデータ活用による売上の最大化
- 業務効率化とともに、働き方の多様化を推進
- オペレーション、事前ピッキング作業の最適化に向けた継続的な改善

手順の改善と
全社への周知

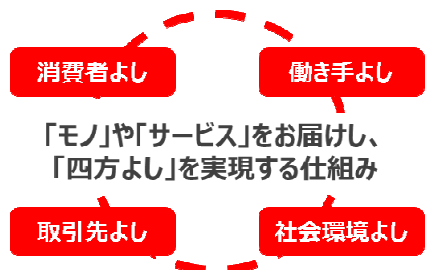
「ムリ・ムダ・ムラ」のない
作業の平準化

監督者による課題の
吸い上げ改善

手順書に基づく
正しい作業手順の浸透



スマート・オペレーションの定義



循環型社会の実現に向けた重点目標



脱炭素社会・循環型社会への
貢献 P.27-31



限りある資源の有効活用に向け、3つの重点目標を設定

循環型社会の実現に向けた重点目標



(2020年11月発表)

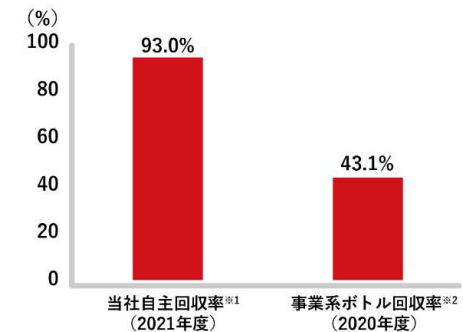
空き容器回収率：企業との連携による回収分を含む
算出根拠：対象容器の回収重量 ÷ 対象容器の出荷重量
対象容器：ペットボトル、ビン、アルミ缶、スチール缶
※植物由来素材、リサイクル素材等

自販機ビジネスにおける環境配慮はこちら

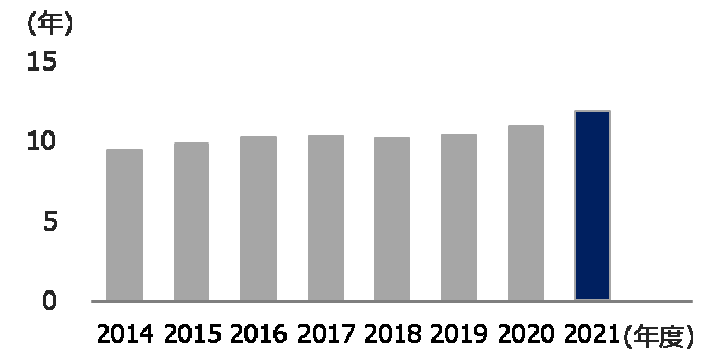
[https://www.dydo-ghd.co.jp/
sustainability/eco/vending_machine_business/](https://www.dydo-ghd.co.jp/sustainability/eco/vending_machine_business/)



空き容器回収率



自販機平均使用年数

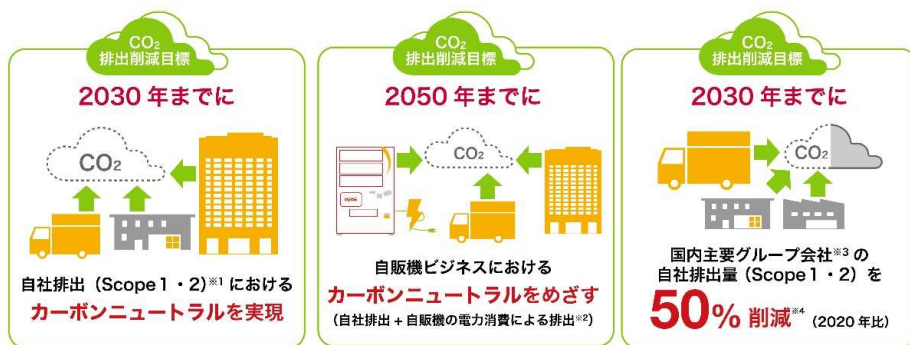


脱炭素社会への貢献に向けたCO2排出削減目標



脱炭素社会の実現に向けて、自販機ビジネスのあらゆる局面で、お取引先とも協働しながら取り組みを推進

脱炭素社会への貢献に向けたCO2排出削減目標



(2022年3月発表)

※1 : ダイドードリンク株式会社、ダイドービバレッジサービス株式会社、ダイドービジネスサービス株式会社

※2 : ダイドービバレッジサービス株式会社によるオペレーション自販機のCO₂排出量 (Scope3)

※3 : ダイドードリンク株式会社、ダイドービバレッジサービス株式会社、ダイドービジネスサービス株式会社、大同薬品工業株式会社、株式会社たらみ

※4 売上高原単位 (対象グループ会社の排出量合計 ÷ 売上高合計) にて算出

CO₂排出量実績 (2021年度)

	Scope1	Scope2	合計	Scope3
国内飲料事業	7,268 86.8%	1,379 109.0%	8,648 89.7%	94,890 97.4%
医薬品関連事業	8,058 106.0%	8,058 106.0%	8,058 104.7%	97.4%
食品事業	8,199 104.7%	8,199 104.7%	8,199 99.3%	97.4%
合計	24,904 99.3%	24,904 99.3%	24,904 99.3%	94,890 97.4%

(パーセンテージは基準年度 (2020年度) からの増減率)

CO₂排出量実績 売上高原単位 (2021年度)

	Scope1	Scope2	合計	Scope3
国内飲料事業	0.06 84.9%	0.01 106.7%	0.07 87.8%	0.80 97.4%
医薬品関連事業	0.72 98.3%	0.72 98.3%	0.72 103.4%	0.80
食品事業	0.39 103.4%	0.39 103.4%	0.39 96.9%	0.80 97.4%
合計	0.17 96.9%	0.17 96.9%	0.17 96.9%	0.80 97.4%

(パーセンテージは基準年度 (2020年度) からの増減率)

「LOVE the EARTHベンダー」の展開を開始



カーボンニュートラル対応を基本価値とし、お客様のニーズに合わせた追加価値を展開していくことで“お客様と共にサステナブルな未来を創る”自販機の展開を開始

基本価値

自販機の年間消費電力量に相当する「再生エネ指定の非化石証書」により、自販機稼働時のCO2排出量を実質ゼロへ



お客様



追加価値の例

植林プロジェクトにより、地域の自然環境の保全をお手伝い



プラスチックごみを減らしたいというお客様のニーズにお応えできる商品としてアルミボトル缶飲料のラインアップを拡充



「LOVE the EARTH」シリーズとして、6商品を展開

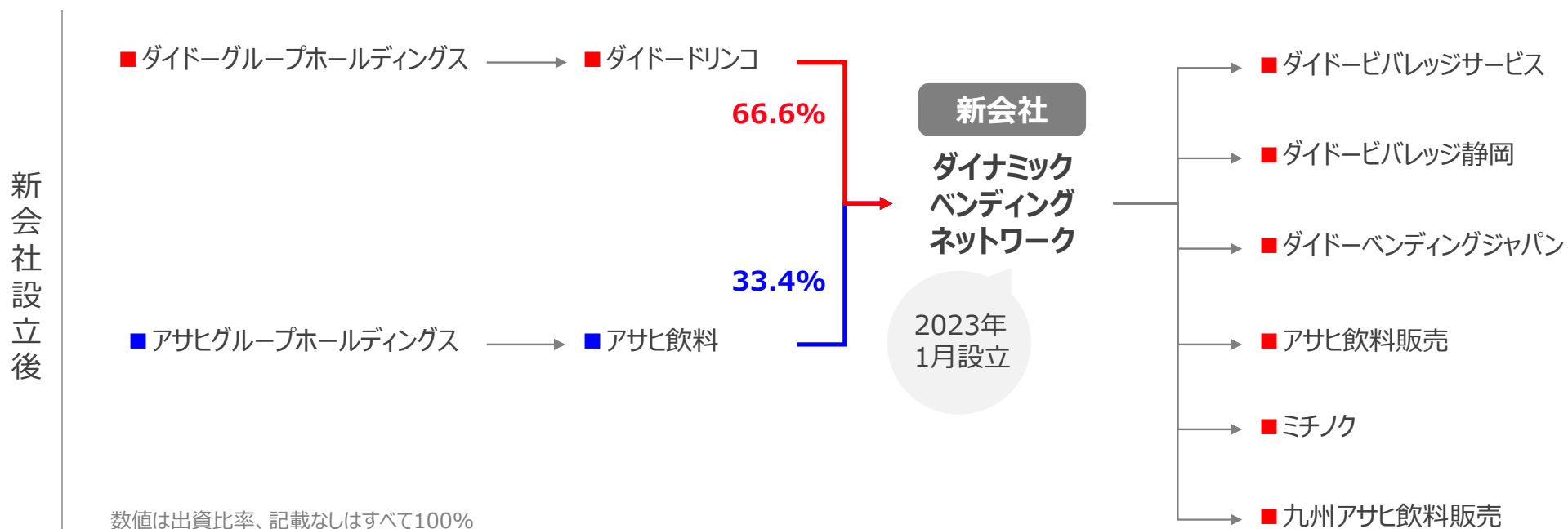
自動販売機事業の成長・発展を図るべく、両社の企業価値向上を目的として、自動販売機事業に関する包括的業務提携契約を締結

- 直販事業の一体的運営によるオペレーションシナジーの追求
- 商品の相互販売によるお客様接点の拡大
- 製造受委託による原価低減
- 効率的な資源回収による環境負荷の低減

包括的業務提携の内容①

直販事業の一体的運営によるオペレーションシナジーの追求

- 新会社設立により、直販事業の一体的運営を推進する
- ダイドーのスマート・オペレーションを展開し、オペレーションスピードと品質管理能力、生産性を向上する
- 将来的な人手不足、雇用確保という課題を解決する



包括的業務提携の内容②



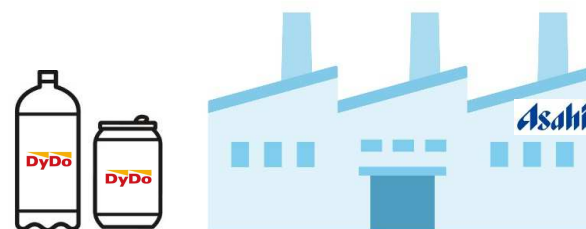
商品の相互販売によるお客様接点の拡大

- 相互販売商品を追加（2023年3月～）



製造受委託による原価低減

- ダイドードリンクブランド商品の一部をアサヒ飲料で製造受託（2023年以降をメド）



効率的な資源回収による環境負荷の低減

- 効率的な資源の回収、PETボトルの水平リサイクル率向上などへの取り組み、社会的課題を解決する



自販機オペレーションのさらなる進化により、自販機市場における確固たる優位性を確立する

2030年にありたい姿

自販機市場において絶え間ない挑戦と共創で新しい価値を提供し、トップランナーとして業界をリードし続けます。

中期経営計画2026^{※1}の取り組み

顧客志向営業の推進による
自販機網の強化・拡充



最新のテクノロジーを活用した
スマート・オペレーション^{※2}の進化



DyDoの店舗である自販機を通じて、
お客様の求める価値をお届けする



効率的かつ高品質な
オペレーションのさらなる追求



協業によるスケールメリット



提供価値の拡大

※1 2023年1月期~2027年1月期

※2 これまでのオペレーションを抜本的に見直し、生産性の高い新たな業務フローとなる、ダイドードリンクの造語。ダイドードリンクの直販営業所において2022年5月に展開完了